

南浜中だより

海鳴

【教育目標】

深く考え 心豊かに実践する生徒

生徒数 113名 (4/1 現在)

平成29年6月9日(金)

新潟市立南浜中学校

HP <http://minamihama-j.blog-niigata.net/>



いざというときに備えて地域とともに
～救命入門コース講習会～

六月六日(火)、二年生は保健体育の授業で北消防署松浜出張所の皆さんを講師に招いて「救命入門コース講習会」を実施しました。この講座には地域の方が四十七名参加してくださり、生徒とともに心肺蘇生の基本的な知識やダミー人形を使ったAEDの実践について学びました。さて、昭和三十九年六月十六日、新潟地震が発生しました。新潟地震は死者は比較的少なかったのですが、地盤の液化化現象で多くの建物が倒れ、大規模な石油コンビナート火災も発生。新しいタイプの都市型災害として世界的に注目され、その後の地震対策の契機となりました。テレビでお馴染みの山村武彦さんは、当時大学生で新潟地震のボランティアに入ったのをきっかけに防災管理アドバイザーを志したといえます。

「顔が見える関係」は防災教育を進める上で大きな基盤です。今後とも地域の実態に応じ、地域と連携した防災教育を進めてまいりますのでご支援をよろしくお願いいたします。

当校は昨年度、「ぼうさい甲子園」で「だいじょうぶ賞」を受賞しました。地域と連携した防災教育が評価されたものです。南浜地区は高齢化が進んでいます。いざというとき、中学生自身が自分の身を守るとともに中学生が地域を支える力になるための知識や技能を身につけることが大切だと考えています。

県が作成した防災教育プログラムの必修内容について教育課程に位置づけるとともに、地域課題を踏まえ、普段から「顔が見える関係」を大切にしながら防災教育を進めています。地域の方とともに学ぶ機会として次のようなものがあります。

- 救命入門コース講習会
- 認知症サポーター養成講座
- ロコモ予防体操
- 避難訓練(年2回)
- 夏休み前地区別防災集会

また、昨年度から始めた短歌講座にも地域の方から参加いただいています。

また、生徒は地域の自主防災訓練へ積極的に参加し、中学生の役割の自覚と具体的な技能を身につける機会としています。具体的には次のような訓練に参加しています。

- ・炊き出し訓練
- ・要援護者の安否確認
- ・搬送訓練
- ・応急処置
- ・心肺蘇生訓練
- ・消火訓練



南浜中学校の防災教育

「顔が見える関係づくりから」

校長 和泉 哲章

